

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2010.9.9

No. 41



面接試験前の読書を！

進学者や就職者にこだわらず面接試験の際に「最近読んだ本は？」といった質問がされることが少なくないと思います。「ほとんど本を読んでいません」という回答もあるでしょうが、高校生になりほとんど本を読んでいないというのも、寂しい限りです。

面接試験までせめて1冊くらいは何か本を読んでおいて欲しいものです。図書館に行けば色々な本があり、自分でも読んでみたくなるようなものも1冊くらいはあるはずです。難しい本である必要はありません。本の筆者は何かを読み手に伝えようとしているはずで、筆者のメッセージが自分の心に響くこともあります。試験対策の読書というよりも、若い皆さんには自分では経験できない世界を本の中から感じ取り、自分の世界を少しでも広げて欲しいものです。多感な若い時期に読んだ本が、時には人生に大きな影響を与えることもあります。私も若い時期にそんな本に何冊か出会いました。皆さんにもそんな本に是非出会って欲しいものです。

進学者面接練習適宜申し出を

そろそろ進学希望者の学校推薦等の願書受付が始まります。進学希望者で面接指導を希望する人は、適宜進路室もしくは担任の先生に申し出てください。都合のつく範囲で対応しますが突然いわれても対応できない場合もありますので、余裕を持って申し出てください。

全国高等学校クイズ選手権を見て



夏の高校野球をはじめ各種スポーツでの高校生の大会を見て感激したことは少なくありませんが、先日テレビで日本の高校生のトップの頭脳集団が集まったこの大会の様子を初めて見て「高校生恐るべし！」と感激しました。全国統一模擬試験で全国一位が何科目もある生徒やIQ140以上という天才女子生徒等が参加していました。

単に知識の量というだけではなく、一を聞いて十を悟るかの如く、問題の先頭部を聞いただけで瞬時に先を類推して答えを導く様に圧倒されました。また、高校では教えないような超難問のテーマが与えられて、そこから答えを導くというものにも圧倒されました。例えば古代エジプト文字の幾つかの原文と、訳文を見て、別のエジプト文字を読解したり、 $v = H_0D$ というハッブルの公式が与えられてこの式から宇宙の年齢を計算せよ等、こうした難問に対して高校生が次々に見事に正答を出していました。日本の将来を担うであろう彼らに感心すると同時に、今後の活躍に心からの声援を送りたいと思いました。

こうした頭脳面やスポーツの面ばかりでなく、人それぞれ様々な持ち味があり、若い皆さん達がそれぞれの分野でこれからの日本を支えて行かれることでしょう。若い皆さん達のエネルギーと感性に大いに期待したいと思いました。